

論文審査の結果要旨

<p>論文題名： 安定期慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対する 肺機能と身体機能, 運動中の呼吸動態を用いた クラスタ分類の検討～運動制限因子との関連と特徴～</p>
<p>提出者： (学生氏名)：亀田光宏</p>
<p>審査の所見</p> <p><論文課題概要></p> <p>前回指摘した一番大きな問題は、%FEV1 と 1 秒率 FEV1%の部分の誤表記と、研究目的が不明瞭な点だった。それらが修正され、また、明確に示されたことで、読者が、論文内容を混乱せずに読むレベルに達したと感じられる。しかし、専門学術誌に投稿するには、未だ修正されるべき事項も残っている。別紙に詳述した。</p> <p><研究内容></p> <p>臨床家として、慢性閉塞性肺疾患患者に対応する中で生じてきた疑問を、研究に結び付けてきたことに価値があると感じられた。</p> <p><科学的到達・新規性></p> <p>COPD の重症度分類に用いられる GOLD II 中等度であっても、GOLD IV が示すような、きわめて高度と同じく呼吸困難、低酸素血症、下肢疲労程度は同程度存在する。そのため、呼吸リハビリテーション実施する上で、COPD 患者の全身状態を詳細に観察することは、GOLD 重症度分類のみでは見逃す可能性のある症状を把握することに繋がり、そこに、本研究意義があると読み取れた。特に、59 頁に示された cluster5, 6 の結果は、大変に興味深く、これが、COLD分類では見逃す可能性のある症状を把握した、本研究の新規性であると感じられた。</p> <p><発展></p> <p>当該疾患に罹患した人々に対応するセラピストに、きめ細かな観察の視点を提供する可能性を持つ研究であり、臨床的な意義があると感じられた。</p> <p>以上のことから、本論文は博士（健康科学）の学位授与に値するものとして認める。</p>

【審査員】

主査： 埼玉県立大学 教授 中村裕美

副査： 埼玉県立大学 准教授 白土佳子

副査： 畿央大学 教授 今北英高